

ともに認めあい、ともに支えあい、ともに輝いて生きる、男女共同参画社会の実現をめざして…

山口市男女共同参画センター だより

令和5年2月号

発行:山口市男女共同参画センター
編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会
〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)
TEL/FAX 083-934-2841 <https://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

山口市男女共同参画センター フェスティバルを開催しました

令和4年11月23日(水・祝)に山口市男女共同参画センターフェスティバルが開催されました。午前10時から小学生とその保護者が参加する「親子でゲーム」、映画「世界で一番しあわせな食堂」上映会の2つのワークショップが行われました。そして午後からは元NHK解説委員の柳澤秀夫氏を講師にお迎えし、「記者生活40年から見えてきた世界、そして日本」をテーマにご講演いただきました。

ご参加、ご協力くださった約250名の方々に厚く御礼申し上げます。



講師の柳澤さん



特派員時代のお話も

講演会「記者生活40年から見えてきた世界、そして日本」

柳澤秀夫氏ご自身の1977年にNHKに入局されてから現在までの歩みをたどりながら、その中で人生の転機となったできごとやその時々学んだことをもとにお話が進みました。横浜、沖縄各放送局記者を経て特派員として現地取材にあたった湾岸戦争や紛争地域でのこと、解説委員に続いてニュースウォッチ9の初代キャスターの任に就き病を得たこと、朝の情報番組「あさイチ」の初代レギュラーメンバーとなり世の中を見る目ががらりと変わったこと等々、率直で温かみのある語り口で時にユーモアも

交えながらの講演に聴衆が引き込まれ、2時間があっというまに過ぎてしまいました。

特に「あさイチ」では、それまで自分が男社会で世の中の半分しか見ていなかったことに頭を殴られたような衝撃を受け、相手の立場に目を向けて自分の生き方を考え直さなくてはならないと痛感したとのこと。また、自分が会津人として持っていた先入観が実際に関わった長州人によって全く塗り替えられたエピソードをもとに、人と自分は違って当たり前であって、むしろ素晴らしい違いが分かったと相手

を理解しようとするようになるという実感のこもったお話に、聴衆からも共感の声が多く寄せられました。

今回の講演会は昨年より参加人数を増やし、とりわけ男性の割合が高かったことが特徴的でした。アンケートでは「自分がみていた世界がいかに狭いものか、よくわかった」「自分の生き方をこの先どうするのかよく考えさせられる講演でした。男女の価値観は違ってあたりまえであり、そこからがスタートとなる」などの感想がありました。



講演会の様子

映画「世界で一番しあわせな食堂」上映会

フェスティバルでの上映会も年数を重ね、毎年楽しみに来てくださる方が増えました。

今年の映画は恩人を探してフィンランドの食堂を突然訪れた上海の料理人と現地村人との異文化交流をテーマに、全く異なる気候風土と食文化を持つ人々がお互いを理解し交流を深めていく様子を温かく描いた作品でした。参加者からは「北欧の映画は初めてで美しい景色を楽しみました」「世界は一つ。『食』は形が違ってても味が同じ、『おいしい』という事でみんなつながっています」という感想をいただきました。



上映会の様子

山口市男女共同参画センターフェスティバル

映画上映会

『世界で一番しあわせな食堂』

11月23日(水・祝) 10:00-12:00

無料 30名限定 託児あり(無料)

【お申込み】
フィンランド名物の食堂にふさわしく、上海から料理人シェンとの出会いがきっかけ、恩人を探しに訪れることとなる。恩人は誰かを探そうとする。本編に登場する、そして感動を呼ぶというテーマが、シンプルながらも、観客の心を揺るがす。感動を呼ぶというテーマが、シンプルながらも、観客の心を揺るがす。感動を呼ぶというテーマが、シンプルながらも、観客の心を揺るがす。

【お申し込み先】
山口市男女共同参画センター
〒750-0018 山口市中央2丁目5-1
TEL: 083-924-0284
E: mcs@city-yamaguchi.jp
URL: http://www.yfc.com/

主催 山口市

※本会の主催、事務局が協賛いたします。

ワークショップ「親子でゲーム」

小学生以上の子どもとその保護者9家族29名が参加して、ペタンク・ダーツ・お手玉投げ・輪投げ・ラダーゲッターの5種目で家族対抗戦を行いました。

講師を務めてくださった山口県立大学名誉教授の青木邦男氏の進行で、和気あいあいと楽しいゲームが繰り広げられ、最後は、長い釣り竿を使って自分のお目当てのお菓子を釣るゲームに参加者の歓声と笑顔が広がりました。



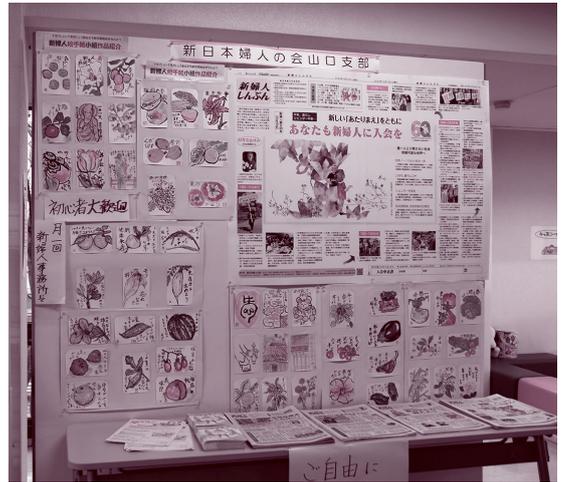
ペットボトル輪投げ



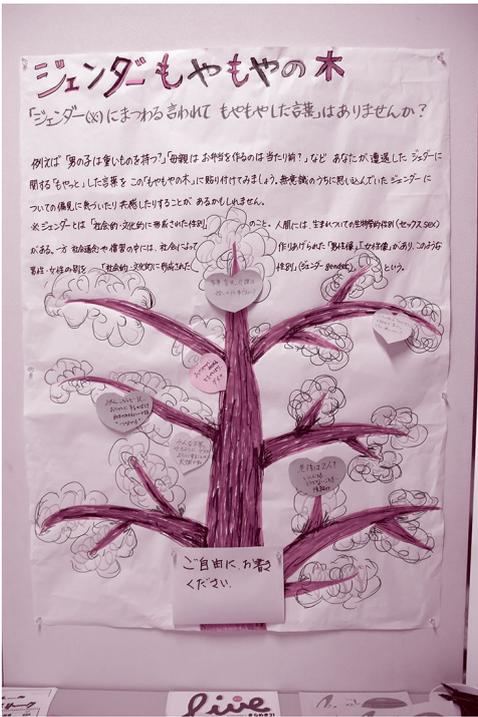
お手玉投げ



オープニングの弦楽合奏



絵手紙の展示



展示「ジェンダーもやもやの木」
皆のモヤモヤを集めた木です



何点かな？



「親子でゲーム」始まるよ！



青木先生のお手本



お楽しみのお菓子釣り

これからのセンター講座の予定

コロナに負けない体力づくり

—ゆっくりと筋肉をほぐす運動と自重での筋トレで健康を織りなしましょう—

参加費
無料



普段の生活では動かしきれない全身の筋肉をゆっくり気持ちよく動かして、こわばった筋肉を緩め、身体の隅々まで血液を巡らして、こころも身体もリフレッシュさせましょう。併せて、自分の体重やゴムバンドを用いた、簡単で無理のない筋カトレーニングで刺激とした健康・体力を取り戻しましょう。

- 日時 **2月18日(土)13:30~15:30**
- 場所 カリエンテ山口 (湯田温泉5-1-1)
- 講師 山口県立大学名誉教授青木邦男さん
- 持ち物 体操のできる服装、ヨガマット又はバスタオル、飲み物
- 定員 15名限定

必ずお名前、連絡先を明記して、電話、FAX、メールで下記参画センターへお申込みください。
託児は直接センター宛お問合わせください

山口市男女共同参画センター ゆめぽぽら
山口市中央2丁目5-1
TEL/FAX (083) 934-2841
✉ mw3kaku@c-able.ne.jp



お申込はこちら

【お願い】

- ★マスクの着用、手指消毒、検温にご協力をお願いします。
- ★発熱などの症状のある方はご参加いただけない場合があります。

おんなの目 おとこの目

山口県の事業に、県外のプロボノワーカーに県内のNPOの課題解決を手伝ってもらおうという事業がある。プロボノワーカーとは職業上のスキルや経験を活かして社会貢献活動を行う

人たちのことで、多くの大企業がその活動を支援している。

山口県では、プロボノワーカーと県内のNPOを結びつけて、交流人口を増やしていこうとしている。

50代半ばになってくると、仕事は若い人たちが主導でやるようになり、定年後も見据えて、どう生きていくかを考えるよう

になる。そこでボランティア活動は一つの選択肢となるようだ。

全国にはスキルの高いワーカーがたくさんいて、本来であれば、高い金額がかかるようなことでも、あっという間にそれも無償で実現したりしてくれる。

こういった人たちと交流することで自分のスキルもあがっていく。とてもよいことだと思う。